

〔科目名〕 経済演習 II				〔単位数〕 4単位		〔科目区分〕 演習科目	
〔担当者〕 青山直人						〔授業の方法〕 演習	
〔演習テーマ〕 ミクロ経済学の理論を学ぶ							
〔演習内容〕 ミクロ経済学の理論(経済演習Iの内容を継続)を学びます。ミクロ経済学の中核にある理論を深く理解することは応用ミクロ経済学分野の経済理論を学ぶうえで役立ちます。経済演習では、消費者行動の理論、企業行動の理論を取り上げ、市場均衡、市場の失敗、独占、ゲーム理論、情報の経済学を取り上げる予定です。							
〔科目の到達目標〕 ミクロ経済学の理論を理解すること							
〔ディプロマ・ポリシー(DP)との関係〕							
学部				学科			
DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3	
○					○	○	
〔前提条件〕 経済数学、経済学基礎論、ミクロ経済学、公共経済学を履修済であること 環境経済学に関心をもっていること							
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) ゼミでの報告と毎時間の提出課題をもとに総合的に評価します							
〔教科書等〕 神取道宏著『ミクロ経済学の力』日本評論社、2014年。 その他、配布資料							
〔実務経歴〕 該当なし							
授業スケジュール							
時期	テーマと内容						
第1回 ～ 第3回	第1章 消費者行動の理論の復習 合理的行動、消費者の選好と無差別曲線、最適消費、限界分析入門、最適消費の性質、補償需要関数、支出関数、所得効果と代替効果、価格弾力性など						
第4回 ～ 第6回	第2章 企業行動の理論の復習 生産要素が一つの場合の企業行動、生産要素が二つの場合の企業行動、利潤と所得分配など						
第7回 ～ 第10回	第3章 市場均衡 部分均衡分析、一般均衡分析など						
第11回 ～ 第14回	第4章 市場の失敗 外部性、公共財など						

第15回 ～ 第17回	第5章 独占 独占企業の行動、独占の弊害、自然独占と価格規制など
第18回 ～ 第21回	第6章 同時手番のゲームとナッシュ均衡 ゲームとは、ナッシュ均衡、寡占への応用(I)、不確実性と期待効用、混合戦略均衡の存在とナッシュ均衡の存在など
第22回 ～ 第25回	第7章 時間を通じたゲーム戦略の重要性と戦略の信頼性 部分ゲーム完全均衡、寡占への応用(II)、コミットメント、長期的関係と協調など
第26回 ～ 第27回	第8章 保険とモラル・ハザード 効率的な危険分担と保険の役割、モラル・ハザードとその対策など
第28回 ～ 第29回	第9章 逆淘汰とシグナリング 逆淘汰とは、シグナリングの原理、労働市場のシグナリング均衡など
第30回	終章 社会思想 社会問題に対する意見の対立の根本にあるもの、市場の恩恵を受けるのは誰か